



杉二だより

令和 5 年度 6 月号
 杉並区立杉並第二小学校
 〒166-0016 杉並区成田西 3-4-1
 TEL 03-3313-0564
<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi2shou/>



高学年で移動教室に行く意義

コロナ禍による様々な規制も緩和され、5 月のゴールデンウィークは、全国各地の観光地に賑わいが戻ってきました。ゴールデンウィーク明けには、児童からは「あそこに行ったよ。こんな事して楽しかったよ。」という声がたくさんあがっていました。嬉しいことです。

さて、先月末から今月にかけて、宿泊を伴う行事を第 5・6 学年で実施していきます。最初に第 6 学年が弓ヶ浜、第 5 学年は山中湖と続きます。心も身体も丈夫に育った成果を発揮するに十分たる高学年だからこそ達成できる行事と考えています。意義はもう一つあります。

学校の中でも廊下歩行、教室移動など時間を意識した行動、授業を受ける際の話や聞く、話すなどの姿勢ができるのはもちろんのこと、自分たちで考え様々な活動に取り組んでいる高学年としての姿です。

本校では、掃除の時間をなくし、教室など汚れたときはその都度掃除をするという習慣があります。この習慣の先をいくのが杉二小の高学年。先日は、「掃除プロジェクト」と称して、学校内のあちこちを掃除している自主的なプロジェクトをあげているグループがあり、先日校長室の床をきれいに掃いてくれました。

(これがまた、部屋の隅の汚れているところをしっかりと見つけて掃除するのです。)

ほかにも 12 面体プロジェクトをたちあげ、折り紙で 12 面体をたくさん作って、杉二小の児童全員にプレゼントするのだという壮大な目標をたて、頑張っている高学年の児童もいます。

杉二小は児童の自主性を尊重して創り上げていくことを教育の重点としております。児童からの視点を大切に、何もかも教員が決めていく視点からの脱却です。「運動の日」「音楽の

日」「図工の日」も、学級単位で実施することで多くの児童に役割と責任が生まれ、児童が主体となって創る行事となっています。

先ほどの掃除プロジェクトにせよ、12 面体プロジェクトにせよ、児童が自主的にプロジェクトをたちあげ、杉二小の一員として自分が貢献できることを考え、実行してくれています。これを、「単なる趣味の延長」と考えずに「学校への貢献」と価値付けるのが、私たち教員の仕事。

すると児童は、面白いほど自分たちができることを考えどんどん実行に移していきます。

このように、学校という社会の中の一員としての自覚をもち、行動ができる高学年だからこそ、家庭から離れ 2 泊 3 日の移動教室を乗り越えられるのです。5 年生も 6 年生もこの 3 日間で、集団の中で自分が貢献できることを考え、実行してくれるはず。とても楽しみです。どんな姿を見せてくれるでしょうか。

校庭の釘に関する本校の安全対策について

区内の学校で校庭に大量の釘が見つかったという事実が判明しました。本校では、事実判明後、校庭の点検を実施いたしました。また定期的に教職員による安全点検の中で、校庭の危険物についても点検を実施いたしております。今後、区のホームページに掲載されたとおり、金属探知機による調査も入ります。新たな情報が入り次第、お知らせいたします。

6月のあいさつ標語

○おはようで 今日の天気は 晴れそうだ

4年 児童作品

○「よろしくね」友達割る 合言葉

6年 児童作品

6月の生活目標

「思いやりや助け合いの心をもとう」

あなたのまわりに困っている人はいませんか。優しい言葉をかけてもらうだけで、心が晴れます。「大丈夫だよ」「手伝うよ」「一緒にやってみよう」「ドンマイ!」…さりげない言葉でみんなの心に美しい虹がかかりますように。